

UG計画

KIBOU project

アート・ インクル ージョン

<UG（ウルトラ学校）計画>

ジャンルを問わないアートの力を活用し、アートを出前することで地域活性化支援を行う「UG計画」は、これまでさまざまな表現者（アーティスト）の参加により、2005年から宮城県仙台、石巻、塩竈、鳴子など各所で展開してきました。



<復興支援UG計画>

今後は上記の「UG計画」に加え、「復興支援UG計画」として、長期化する避難所や仮設住宅エリアにも表現者（アーティスト）を派遣、参加型の表現・創作活動を行うことにより、避難住民の心のケアを行ったり、受け入れ地域の住民と避難住民とが芸術文化活動を通して出会い、協働できるような環境づくりを図ってまいります。



今回の大震災では多くのものが失われ、家も跡形もなくがれぎとになってしまいました。これらを全て何もなかったように綺麗に元通りにするのではなく、人類共通の記憶として残していく取り組みを行います。

のこすプロジェクト

——<3.11メモリアルプロジェクト>

広島の前爆ドームのように、写真、映像、証言、科学的データだけではなく、打ち上げられた漁船やビル上の車など超現実的な世界をあえて残すことで、震災の記憶を後世に伝えていくプロジェクトです。

しめすプロジェクト

——<桜プロジェクト>

想定外の被害、1000年に一度の災害などと言われる今回の地震と津波。いったいどこまで津波が来たのか、今後も来るのかを後世の人に伝えていくため、津波が来た地点に桜を植樹していくプロジェクトです。



<アート・インクルージョン（Ai）>

アート×福祉×まちづくりをコンセプトに、アートの力で社会包摂を実現しようと2010年から始まったバリアフリーのアートプロジェクト。

年齢、性別、国籍、障害のあるなし、アートの基礎知識やスキルなど関係なく誰もが自由に参加でき、様々なメディアを融合させながら、地域に根ざした取り組みとして継続していきます。

現在の主な活動拠点である仙台市太白区長町では、仙台市による仮設住宅の建設が進んでおり、福祉やまちづくりNPOと連携しながらこの地でのコミュニティ形成をアートの力で後押ししていく考えです。



<3.11NPO+>

東日本震災直後より、地元仙台的ネットワークを活かして県内外のNPOとともに「仙台宮城緊急支援対策本部」を結成。関東、関西のNPOなどの窓口として、緊急支援物資受け入れや配送のコーディネートを行ってきました。

こうして生まれたNPO連携を「3.11NPO+（プラス）」として改組。今後、支援が長期化し、NPOの専門性をいかした支援がより一層重要になっていく中、県内外の要望を受け、緊急物資の配送、炊き出し、避難所でのイベント運営などを行う連絡役としての活動を継続的に行っていきます。